

# ダイバーとビデオ通話を行うための 簡易技術導入マニュアル

---

一般社団法人ふくおかFUN



一般社団法人  
ふくおかFUN  
Field & Underwater Naturalists



# 1.映像編

## 【用意するもの】

- ・水中ケーブル
- ・スマートフォン
- ・養生テープ
- ・パソコン
- ・水中カメラおよびハウジング
- ・モニター等の投影器材(パソコン画面より大きく投影したい場合)
- ・HDMIケーブル(投影器材と接続する場合)
- ※AirPlay等によるストリーミングでも可



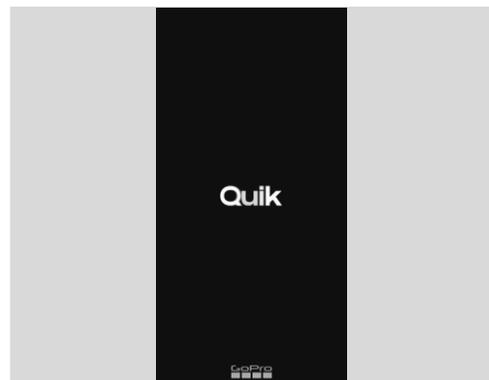
水中ケーブル



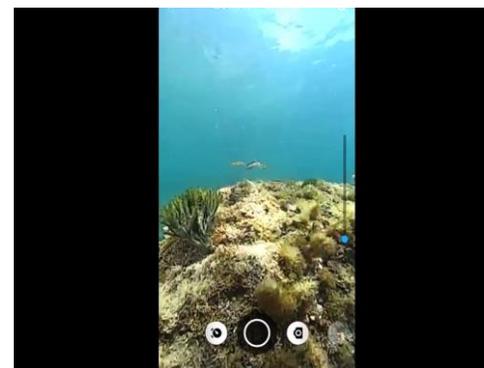
水中カメラおよびハウジング



ダイバーが所有する水中カメラと陸上員が所持するスマートフォンを接続用部品や養生テープを使用して水中ケーブルでつなぐ。



水中カメラが撮影した映像の確認が可能なスマートフォン専用アプリを起動する。(写真は一例)



スマートフォンをWEB会議システムに接続する。



ダイバーが潜水して撮影した映像をPCやモニター等に投影する。

### 【用意するもの】

- ・水中通話装置  
陸上機、水中アンテナ、トランシーバー  
骨伝導マイク&スピーカー
- ・水面用ブイ



陸上機



水中アンテナ



トランシーバー



骨伝導マイク&  
スピーカー



水面用ブイ



水中会話装置の陸上機を水面用ブイに搭載して水面に浮かべ、水中アンテナを水中に入れる。



ダイバーが骨伝導マイクを通して会話した音声を水中アンテナが受信し、陸上のトランシーバーへ送信する。



陸上のトランシーバーを通して会話した音声も同様に、水中アンテナが受信して、ダイバーの骨伝導スピーカーへ送信し、双方向の通話を行う。

### 3.ダイバーとのビデオ通話図式

【1.映像編】と【2.音声編】を組み合わせることにより、水中映像を見ながらダイバーとリアルタイムで会話することが可能となる。

